

行政視察報告書

令和2年2月5日

会派名 無所属クラブ

会派代表者 堀 元

(参加者：大藪 豊数)

行政視察の結果について、次のとおり報告します。

①

| | |
|------|-------------|
| 年月日 | 令和2年2月3日(月) |
| 視察時間 | 13:30~15:30 |
| 視察先 | 京都府城陽市 |
| 視察項目 | ロゴスランドについて |

行政視察報告書

①

| | |
|------|-------------|
| 年月日 | 令和2年2月3日(月) |
| 視察時間 | 13:30~15:30 |
| 視察先 | 京都府城陽市 |
| 視察項目 | ロゴスランドについて |

■目的

すいとぴあ江南の将来について、健全経営に向けての手法を探るため、民間キャンプ用品販売会社の(株)ロゴスコポーレーションが指定管理をする京都府城陽市の総合運動公園に学ぶ。

■内容

【経緯】

ロゴスランドとは鴻ノ巣山運動公園(城陽市総合運動公園)のおおむね半分の面積を占める部分の呼称で、大阪府にある(株)ロゴスコポーレーションというキャンプ用品などを扱う事業所が指定管理を行っているテーマランドである。



昭和63年、32年前に国体の誘致をきっかけにプラムイン、平成9年、23年前にはアイリスインという宿泊施設を伴う建物を造るも利用頻度が低くなり行政としても毎年2千万円ほどの大きな赤字となる施設となる。

平成29年、プラムインの指定管理団体の早期撤退がきっかけとなり、(株)ロゴスコポーレーションに指定管理の前倒し依頼をする。

平成30年6月30日、ロゴスランドプレオープン

令和1年6月29日、アイリスイン、レクリエーションゾーンも含めてロゴスランドのグランドオープン、全体の指定管理開始。

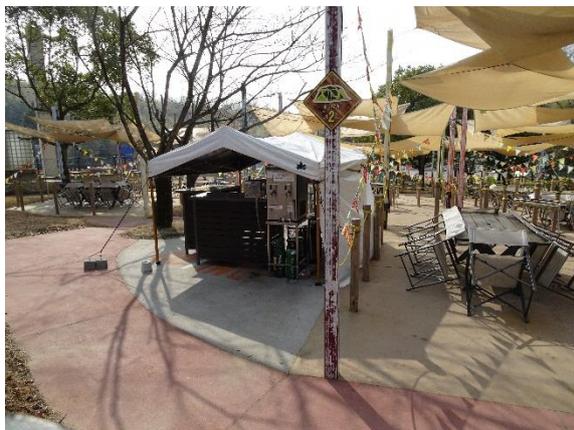
【視察内容】

現地に到着すると、とても広い敷地にワクワクするような施設がたくさん展開されていた。

画像のふわふわドームが大ブレイクのきっかけだったそうで、分かりやすく言えばエアドームの上に乗って跳ねて遊ぶ遊具である。週末には多くの子どもたちでにぎわいを見せている。建設費は6千万円。



BBQ スタジアムは、8人掛けのテーブルとロゴスの BBQ ストーブが配されており、20ブースほどあり、手ぶらで来ても食材から燃料、器具まですべてロゴスランドで準備されている至れり尽くせりの施設である。食材の持ち込みも OK で、その場合ドリンクバーの利用料金を支払わなければならない。



ロゴスが指定管理をするにあたっては、その改修工事などはすべて市が負担したそうだ。施設の売り上げの50%は市の収入としている。

ロゴスがこの指定管理をするのは初めての経験である。しかしながらロゴスランドという名前が全国的にもテレビをはじめ多くのメディアに取り上げられ有名となり、ネーミングライツもしていないのに、ロゴスランドという名前がひとり走りし、なおかつロゴスの扱う商

品のアンテナショップともなるため、指定管理の費用対効果がそれほど高くなくてもメリットは大きい。

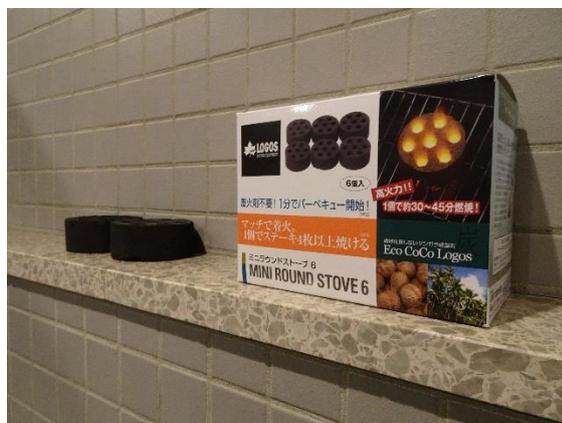
人気の年間行事としては、マシュマロフェア、ロゴスのキャンプ用品の展示即売会、冬のイルミネーション、運動公園のスポーツ大会時の食事提供などがある。

この施設のロゴスへの指定管理に関する施設改修においての補助金などは、外壁に使った京都府産の木材を使うことによる森林環境税の補助金が使えた。その他の補助金・助成金は使っていない。



火の利用に関する制限は行っておらず、自由に使えるが、BBQ スタジアムなど火を利用する場所にはロゴスランドのスタッフが常駐し、常に監視している。また、このスタッフは BBQ やキャンプ初心者のコーディネーターとして火の扱いから食材の焼き方、片付けまでアドバイスしてくれる。

トイレや廊下・通路の片隅にさりげなくロゴスランドのキャンプ用品が展示してあることには商魂たくましい浪速商人の心意気を感じた。



【課題】

キャンプ初心者や BBQ 初心者にとっては最高の施設で、テントの張り方、BBQ ストープの着火の仕方、キャンプの体験は室内でできるので、雨や雪、荒天時でも安心して宿泊や食事ができるが、本格的キャンパーや BBQ 利用者が訪れてもその期待に応えられる

施設はない。

週末やイベント時には多くの利用者が車でおいでになり、駐車場が少なく道路にまで渋滞ができることが問題である。

高齢であろう利用者からは、イタリアンを中心としたレストランの飲食サービスに対して、定食や麺類などの提供をしてほしいとの意見が多い。ただし、言いたかっただけかもしれない。



真夏の屋外施設利用に関しては暑さ対策として、空調メーカーであるダイキン初の屋外型大型スポットエアコンが設置された。

要望が多い施設内のテント張り、施設外での BBQ は禁止しており、マニアたちには残念がられている。

レストラン内の椅子やテーブル、ウォーターサーバーも徹底してロゴスのキャンプ用品が利用されていたが、一か所だけこたつがあったのにはホッとした。



施設の詳細等はロゴスランドのホームページに掲載されている。

■所感

節分の寒い日に訪れたため、見た目の来場者は少なかったが、それでも週末となると駐車場があふれるほどの来場者で賑わうのはとてもうれしい。

城陽市の職員さん、ロゴスランドのスタッフのご努力がうかがえる。

私としてはとにかくBBQ施設を勉強したかったのだが、全く理想的な施設に感心した。あえて問題を言えば、雨天時に厳しいところだろう。全天候型のBBQはプラムインやアイリスインの建物内のBBQ施設に限られる。

これらの施設であれば、江南市のすいとぴあ江南にすぐにでも造作することができる。

改めて江南市内にはBBQが全天候でできる施設が無い。

何とか早急に作りたいものである。

併せて、(株)ロゴスコーポレーションがアンテナショップ的に使っているロゴスランドのように、すいとぴあ江南が大手スポーツ用品企業が指定管理を行っていただけると良いと考えた。

※画像はすべて当該施設の管理者より掲載などの許可を受けております。